

いしかりちほん

「サービス業保育」は弊害あり

保護者への支援と一体感重要

8月18日、第22回全道保育集会在自治労会館で開催され、石狩地本管内からは保育士を中心に5単組・25名が参加した。地本社会福祉評議会は今年度の活動方針で、今期保育集会への積極的な参加を提起していた。

開会にあたり、主催者が代表して北海道本部社福評野城議長

が挨拶し、その後、自治労本部からは平川社会保障局長が、

「消費税関連法に關して、必ず社会保障関係に使われるように運動を進めていく」と述べた。

基調講演では、弁護士で社会福祉士でもある寺町氏から

「子どもの権利を守る保育」というテーマで全4部に分けて講演を受けた。

第1部で子どもの権利が説明された後、第2部では「保護者による子どもの権利侵害について」との内容で、虐待による死亡事件の背景には、「保護者」自身が非正規労働などに余裕が失われ、結果、子どもにあたってしま

うといった状況も報告された。

また、第3部では、保育園で起きた園児の死亡事

発行
2012年9月3日
12-11号
〒060-0806
札幌市北区北6条西7丁目
自治労北海道本部内
石狩地方本部
村上 真仁
TEL:011-747-1880



故等の事例報告があり、事故から子どもを守る事が生命権を守ることであり、すべての事故に共通している点は「見ていなかった」ことが原因であるとの説明がされ、最後の第4部

では、公立園の特徴としてノウハウをどう蓄積していくかが重要との話がされた。午後からは、参加者は5つの分科会に分かれて、各テーマごとに議論を深め、それぞれ職場の情報交換なども行われた。この内容は、最後に報告され、参加者全体で共有された。



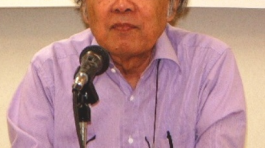
社会福祉士としても活動している講師の寺町 東子氏
基調講演
「子どもの権利を守る保育」

戦争での紛争解決ありえない 不戦の誓い 新たに

67年目を迎えた終戦記念日の8月15日、北海道平和運動フォーラムが主催した「不戦の日! 8・15北海道集会在自治労会館で開催された。冒頭、主催者を代表して挨拶した江本秀春代表は「戦後67年が経過し、戦争を体験

した人が少なくなり、領土問題など、世論もナショナルリズムに偏重する傾向がある。戦争で国際紛争が解決した例はない」と述べ、二度と戦争を起こさないとの誓いを確認する必要を訴えた。

構造四冲縄差 崎さん



講演する新崎 盛暉教授

続く講演では、沖縄大学の崎(あさき)名誉教授が「戦後67年、今なお続く構造的沖縄差別」と題して、60年安保当時から構造的な沖縄差別の歴史を解説、沖縄返還が現在の基地集約の始まり

今年度本部大会が終了、専従最後の大会が北海道開催となりました。

専従期間はあとわずかですが、引き続き地本に結集する皆様とともに頑張りたいと思います。(む)

書記局から

専従期間はあとわずかですが、引き続き地本に結集する皆様とともに頑張りたいと思います。(む)

自治労本部は、8月29日〜31日、今期の定期大会を函館市において開催した。全国大会が北海道で開催されるのは、2001年の旭川大会以来11年ぶりとなる。今大会は、首相の間責決議案が可決されるなど、政治情勢が大いに臨む石狩地本代議員団

II 函館市民体育館

